

# 教養教育の高度化を目指した実践と展望

・チーム形成部門

・アクティブラーニング部門

・環境エネルギー科学特別部門

・科学技術インタープリター養成部門

・生命科学高度化部門

・国際化部門

・社会連携部門

教養学部附属教養教育高度化機構は、  
教養教育の現代的な課題に対応すべく教育開発を行っています。  
本シンポジウムではこれまでの成果を概観するとともに、  
教養学部のカリキュラムの歴史の変遷を踏まえた上で、  
教養教育の発展の方向性と課題について議論します。

2013. **3.11** | 月 | **13:00**-18:00

東京大学教養学部 21KOMCEE 地下1階レクチャーホール

主催：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構

プログラム（総合司会 西中村浩）

1. 挨拶・趣旨説明：教養教育高度化機構長 嶋田正和

## 教養教育高度化機構の取り組みについての紹介

2. 基調講演：教養学部長 石井洋二郎

## これまでの教養教育と これからの駒場の教養教育が目指すもの

3. 各部門講演

チーム形成部門：部門長 真船文隆

## 正解のない問いに挑む ——ブランドデザインスタジオの試み

アクティブラーニング部門：部門長 山口和紀

## アクティブラーニングの現状と課題

環境エネルギー科学特別部門：部門長 瀬川浩司

## 環境とエネルギーの課題解決を担う人材の育成 ——日本のエネルギー問題を題材に

科学技術インタープリター養成部門：部門長 藤垣裕子

## 科学者の社会的リテラシーと 市民の科学リテラシー ～後期教養教育の試み～

生命科学高度化部門：部門長 石浦章一

## 生命科学教育における現代的な課題

国際化部門：伊藤徳也

## 南京大学との間の学生交流プログラムの 現状と課題

社会連携部門：部門長 渡邊雄一郎

## 高大接続「金曜特別講座」からの 展開を考える

教育研究データ分析室（20分）：教育研究データ分析室長 倉田博史

## 数値からみた教養教育の現状と課題

4. パネルディスカッション（司会：山口和紀）

ディスカッション・テーマ

## 教養教育と学力観

（学士力、社会人基礎力、AHELO、21世紀型スキル、東京大学モデル）

## 教養教育のリソース

（教科書、教材、学習環境、教育方法）

教養教育の高度化を目指した実践と展望



### 用語紹介

学士力（4分野13項目）

○知識・理解：

多文化・異文化に関する知識の理解、人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

○汎用的技能：

コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力

○態度・志向性：自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力

○統合的な学習経験と創造的思考力：

獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

社会人基礎力（3能力、12要素）

○前に踏み出す力：主体性、働きかけ力、実行力

○考え抜く力：課題発見力、計画力、創造力

○チームで働く力：発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

AHELO：Assessment of Higher Education Learning

Outcomes.（OECD 高等教育における学習成果の評価）

Generic skills (critical thinking, analytical reasoning, problem-solving, and written communication),

Discipline-specific skills in economics and engineering.

21st-century skills internationally as four broad categories

Ways of thinking, Tools for working, Ways of working,

Ways of living in the world.

東京大学 EMP メソッド

教養・智慧、マネジメント知識、コミュニケーション技法

2013. **3.11** | 月 | **13:00-18:00**

東京大学教養学部 21KOMCEE

地下1階レクチャーホール

主催：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構